［第307回朝食会結果］

横浜市健康経営認証制度取得企業４社より、
各企業におきます取り組みの状況をご報告頂きました！

㈱アイネット、㈱ダイイチ、㈱ジェイエスピー、大塚製薬㈱横浜支店

第 307 回は、７月 17 日（火）８時 15 分より、HOTEL THE KNOT YOKOHAMA において、３連休明けということもあり、32 名の出席で開催、加藤会長が所要で欠席された事から、座長を荒木郁雄副会長に御願い致しました。

荒木副会長より、「３連休明けでご多忙の所御出席賜りありがとうございます。

梅雨も明けまして暑い日が続いておりますが、中国地方では７月５日からの大雨により、町の３割近くが浸水するなど未曾有の大災害となっており、亡くなられた方々、被害された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

本日の朝食会は、横浜健康経営認証制度について、当会会員８社が横浜健康経営認証制度の認証を受けられたと聞いております。その中で４社に取り組み状況を報告頂き、経営活動に、また、企業イメージアップの参考にして頂ければとの考からの開催と事務局より聞いております。是非、ご参考にして頂ければ幸いに存じます。ご報告頂きます方々よろしくお願い致します。と挨拶を頂きました。

本日のテーマは、当会は、昨年９月の第 298 回朝食会にて健康経営をテーマに開催致、現在８社が横浜市健康経営の認証を受けております。

健康経営の取り組みは従業員が元気で仕事をしてもらい、企業を継続的に発展させる新しい経営手法と捉えていること。経営のトップが率先して関わることで、全社的な取り組みとなり、高齢化社会に不可欠な経営戦略となっていることや企業のイメージアップにも繋がる事から『健康経営取り組み事例紹介と横浜市健康経営認証制度等について』と題して、認証を取得している４社に各企業におきます取り組みの状況をご報告頂き、ご参考にして頂く事を目的に開催致しました。（以下発言の要旨です）

2020 年までに AAA の認証及びホワイト 500 の認定を目指すとしています!

[横浜市健康経営認証 2018 クラスA]㈱アイネット　石神哲取締役

アイネットですが、クラスＡをアイネット本社で認証を受けております。また、特例子会社でありますアイネットデータセンターはクラスＡＡを頂いております。主な取り組みですが大きく５点に分けてお話しさせて頂きます。

１．情報収集啓蒙活動では、健康意識を高めるｅラーニング「Let‘ｓヘルスアップ」は、学習とアンケートをテーマに年１回行っております。学習篇は、食事とか健康知識を行っており、アンケート編では睡眠状況、食習慣、運動習慣などを中心にヒアリングします。

昨今厳しくなっております喫煙についてもアンケートを取っております。また、メンタルヘルスは義務付けておりますので全員が対象、ストレスチェックは事業部により傾向が分かれます。事務系は比較的ストレスは少ない傾向が出ています。
２．衛生委員会で、労働時間の管理徹底を行い、毎月過重労働者でないよう告知活動しております。また、健康診断は 100%実施を前提とし、検診を受けた結果を提出すると言う事を毎月催促をしております。
３．定期健康診断は一番重点をおき１００％受診を目指し人事部が徹底した対応をしております。その、結果は神奈川県の情報サービス産業健康保険組合から組合平均と弊社社員の比較などのフィードバックを受けており、個別には弊社契約産業医が健康診断結果に基づき個別指導を行っております。また休職になった場合のには、復職支援プログラムで確実な復職が出来るようサポートしています。また、各事業所でインフルエンザの予防接種も行っております。
４．教育活動は、新入社員にはメンタルヘルスの検定を全員受診させています。また、管理職の昇進時には、メンタルヘルス、部下への対応、ハラスメント教育などを徹底した教育を行っております。
５．その他の事項として、福利厚生として、保養所や選べるクラブ等を利用したり、横浜ウォーキングポイントにも参加しております。また、クラブ活動が積極的に行われておりまして、野球部、フットサルは会社の行事として年１回秋に開催しています。。最近はテニス部もでき、愛好会関係も結構あります。最後になりますが、アイネットとして 2020 年までにクラス AAA の認証及びホワイト 500 の認定を目指すとしています。

健康経営の認証はトリプル A もダブル A もそうですが、PDCA サイクルがちゃんと出来ているかが一番の問題です！

[横浜市健康経営認証制度 2018 クラスA]㈱ダイイチ 花本高志取締役社長

私共の創業者鈴木米蔵ですが、現在 97 歳でぴんぴんしておりまして、今でもゴルフをするくらい元気で会社にも週３回は電車で通勤してきます。
こんな創業者が社内におりますので社内の人間はできれば、こんな 97 歳になりたいねと言う事から踏み出していこうと言う事で健康経営を取り組むこととなりました。
折角だからクラス AAA を目指しましたが、残念ながらクラス A に終わりました。其れがどうしてだったかと言う事を説明致します。申請には、夫々に区分がありその基準を満たさないとだめで、それがクラス A、クラス AA、クラス AAA でして、こちらからの申請では全部クリアしていると思い申請しましたが、残念ながら出来ていない所もあってクラス A となりました。
クラス A については、Ⅰ．健康経営を宣言する事と経営のトップの意思が具現化されているかに尽きるのですが、これは、どの会社でもいけると思われます。特に、此の中でレクレーションで休養を目的とした、濱フレンドをしたり、野球部、フットサル、ウォーキングであったり、つり部など色々同好会形式で活動を行っています。フットサルは横浜 FC 主催の大会で優勝することが出来まして、結構強豪ですので是非挑戦もして頂きたいと思っております。
次に、Ⅲ．推進体制のなかで、クラス AA のチェック項目としては 7 項目のうち４つ○があれば良いと言う事で申請しましたが、残念ながら３つとして受け入れられ取れませんでした。
トリプル A もダブル A もそうですが､PDCA サイクルがちゃんと出来ているかが一番の問題で、現在この過程をどうして行こうかと言う事が出来ていないと取りづらい事になります。色々な認証制度がありますが、クラスが上れば上るほど、こうした事がちゃんと出来ていないと、課題に対しての改善策が出来ていないと、難しいなと言う実感をしました。
次の、Ⅳ．健康課題の把握と取り組みについては個々には合格しましたが、先ほどの PDCA が出来ていないと言う事が大きな要因で頂けなかったと言う事です。次の、Ⅴ．取り組み結果の項のクラス AAA のチェックについても、こちらが出来ていると思っても出来ていないというところがありまして、それが PDCA が出来ていないというのが大きな要因でした。これらについては、今後クラス AAA を目指すにあたり、やっていかなければいけない改善、取り組み、実行というところを目指していかなければいけないと思っており、今後もクラス AAA を目指して行きたいと考えています。

この健康経営を謳うことによって、社員の方にセクハラ、パワハラにとられるような、タバコをやめなさいとか、体重を減らしなさいとかという事でも、健康経営をあげているのだからやっていこうと言いますと、違う捉え方をされるなど良いサイクルが廻っているなどプラスに働き、よい認証制度と思っています。認証を受けるには色々な項目がありますが、出来ていない事もこれから足していく事により、簡単に取れる制度ですので皆様も是非挑戦されてはと思います。

取得のメリットは、経営者側から積極的に健康経営を呼びかけることで社員の意識が大きく変化し企業イメージもアップしました!

[横浜市健康経営認証制度 2018 クラスＡＡ]㈱ジェイエスピー　稲田彰典代表取締役

(写真中央)

会社の所在地は西区の高島町にあります。設立は 1980 年１で本年４月から 40 期を迎え、社員数は 140 名で、うち女性が２割を占めています。

事業は IT 企業でソフトの開発などを行っています。当社は、クラス AA を認証頂きました。当初はクラス AAA を目指しておりましたが、少し足りなかったと言う事でクラス AA となりました。

当社の健康経営の取り組みですが、まず、「社員の健康を重要な経営資源の一つとして位置づけ、社員一人ひとりの健康維持の積極的支援と組織的な健康活動を推進し社員が安心して活き活きと働くことが出来、社会に評価される企業を目指します」との宣言をしました。横浜健康経営認証応募へのきっかけは、かねてより健康経営に工夫を凝らしてきましたが、昨年度は年度目標として健康経営を掲げたこともあり、健康経営を推進していく中で、横浜健康経営認証へチャレンジしました。

具体的な取り組み内容ですが、社員の健康管理として、健康診断やストレスチェックについては、契約医療機関の産業医や保健師と連携し、結果の把握と健診後フォローを行っています。

健康に関するセミナーの開催ですが、健康診断の結果分析において、特に 20 代～30 代の社員に脂質異常が多く生活習慣病予備軍になっている心配がありますので、生活習慣病の知識を持ってもらうことで予防につなげたいと考えています。また、横浜保健所へ講師派遣依頼し全体会議の際にセミナーを実施したりしています。

健康情報の配信については、提携医療機関や横浜市健康局から提供される情報を全社員に向け、月 1,2 回配信しています。

社員に対し、健康経営に関するアンケート実施し、実施できる案については積極的に応えていくこととし、最近ウォーターサーバーの導入なども行いました。また、予防接種や感染症予防のための医療品、マスクや消毒剤など購入費の補助も行っております。

今までは、プロジェクトチーム毎の判断で承認申請をしていましたが、今年度からは全社員年一回、5,000 円まで利用できるものとしました。

職場環境の改善ですが、残業時間マネジメントをしております。残業する際の事前申請の徹底や社員への教育に力を入れ、残業時間の削減に取り組んでいます。今年度は更に申請方法の見直しを行い、時間マネジメントによる残業時間削減を目指しています。

有給推奨日の設定と有給休暇取得の推進については、５年ごとに付与されるリフレッシュ休暇などの整備や積極的な取得を促進する施策を検討しています。運動習慣の向上ですが、横浜ウォーキングポイントへの全員参加や社内に体操スペースを設置し、肩こりや腰痛防止のためにぶら下がり健康機器を設置しました。更には、就業中のストレッチ運動の推進として、腰痛や眼精疲労が多いことから、各部で就業前にストレッチを行っております。

スポーツサークルのサポートについては、フットサルサークルは以前から活動していましたが、本年度は新たにバスケットボールサークルが発足し活動しています。

社内にワークライフバランスプロジェクトチームを発足させまして様々な健康増進イベントを企画しています。社内コミュニケーションの促進と身体と心の健康への関心を高める事を狙っております。例えば、大山登山、月一回のご飯会、会社にて炊飯器でご飯を炊いて、おかずも作っています。更には、街歩きイベントなど積極的に活動しています。

健康認証取得のメリットとしては、経営者側から積極的に健康経営を呼びかけることで社員の意識が大きく変化しました。健康経営を通じて企業イメージもアップしました。応募される学生の方々や各企業様へのイメージアップなどのメリットがあるかと思っております。

今後の展望ですが、社内アンケートを実施し、社員の生活習慣や健康状況をより具体的に把握し、さらに詳しく分析しながらPDCAを廻していきます。また、産業医や保健師、相談窓口などの活用を活性化させ、悪状況に陥る前の救護策に注力したいと考えております。また、社員やその家族の身体と心の健康が会社の財産であると考え、これからも積極的な支援、環境づくりを行っていきたいと考えております。

近年の働き方改革などから社員の考え方も心身が健康でなければ仕事も成果に結び付けられないという考えに変わってきました!

[経済産業省健康優良法人ホワイト500]
[横浜市健康経営認証2017 A]大塚製薬㈱横浜支店榎本英雄次長

神奈川県をカバーしている横浜支店は1968年に設立され、今年で50周年を迎えました。大塚製薬として大切にしている行動指針は「流汗悟道・実証・創造性」の三つです。

弊社は全社的な健康経営に関する取り組みが評価されて、ホワイト500に2017年認定されました。また、弊社の横浜支店では、横浜市健康経営認証取得にも積極的に取組、昨年認定制度が始まった初年度クラスAを取得いたしましたが、本年はクラスAAの取得を目指して取り組んでいるところでです。

まずは健康経営を進めるのに一番大切な経営者による健康宣言ですが、弊社は世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造すると健康宣言と生命関連企業としての企業理念が繋がっているのが、特徴です。もともと私共は、昔は健康経営とは程遠い心身ともにタフな毎日を過ごしておりました。しかし、近年の働き方改革や女性の活躍推進などで、社員の考え方も変わり心身が健康でなければ仕事も成果に結び付けられないという考えに変わってきました。社員一個人の健康問題は、従業員の意欲、生産性、離職率、医療費負担に影響を及ぼす訳ですが、これが集団となった場合には、「企業にとっての重要課題」になってきています。

その重要課題の解を「健康経営」と定義づけ、全社一丸となって取り組んでいるところです。弊社横浜支店としましては社員のあるべき姿の実現の為に、この三つのポイントに注力しております。一つ目は経営トップの意思の具現化。二つ目は健康経営推進体制の確立。三つめは健康課題の把握とその課題解決です。

特に健康経営推進体制ですが、具体的には、30歳以上の社員の人間ドック受診無料化、オーダーメイド型の運動プログラムや食事指導を受けられる「プログラム」提供、社員やその家族向けの健康セミナー開催などを取り組んでいます。ここまでは、大塚製薬の健康経営に対する考え方を紹介させて頂きました。

次に、実践している健康経営の第一歩を紹介させて頂きます。「健康経営」は何をすればよいのかわからない、とお悩みの方でも、経費をそれほどかけずに誰でも手軽に実践できる内容となっておりますので、ぜひ参考にして頂ければと思います。まずは、皆様も既に行っているところもあるかもしれませんが、毎週水曜日をNo残業デーと定めて、社員のモチベーションUPに繋げています。特に近年、若手社員には好評のようです。

弊社は神奈川県と現在、包括協定を締結して8項目における連携事業を展開しております。特に黒岩知事の提唱している未病の改善県民の健康に関する事業には力を入れています。その中で、神奈川県が進める健康経営の取組であるCHO構想推進事業所というものがありますが、既に登録致しました。

CHOとは、健康管理最高責任者として健康経営を推進する役ですが、弊社横浜支店では私が、日本健康マスター検定というものを受講し、エキスパート認定を受けて健康経営の旗振りをしております。

是非、皆様も簡単ですので、このCHO構想事業所にご登録ください。

次に、弊社横浜支店が事業所レベルで実施している事を一部ご紹介します。どなたでもすぐにやれることですので、ご参考にしてください。先ずは、弊社オフィスの玄関に横

浜市健康経営認証をはじめ各認定証を掲示して社員の意識づけを行っております。また、名刺にも横浜市健康経営認証のマークを入れて、お得意様との接点に大きく役立てさせて頂いております。

事務所の長時間のミーティングは会議が効率を下げるとの指摘もされておりますが、弊社は今年、思い切ってスタンディングでミーティング出来るスペースを創って、基本的にはここを使うように致しました。その結果、会議時間の短縮と効率が上がり、外勤やその他のクリエイティブな時間に充てる事が出来る様になりました。

この机は某ホームセンターで一万円前後で買って設置したものですので、お勧めです。また、観葉植物を同じくホームセンターで買って事務所に置きましたところ、メンタル的に大変癒されるとの事で社員からは好評です。又、運動習慣の定着が問題になっておりましたので、思い切って椅子を無くしてバランスボールを導入致しました。.

１個 3,000 円ほどで手に入る事から全員が一回の飲み代を我慢してマイボールを購入して事務所で使っています。このバランスボール（写真右上）は姿勢が良くなり、腰痛も治ってきたという社員もおり、導入して正解でした。また、横浜市が取り組んでいるよこはまウォーキングポイントにも全員参加して支給された万歩計やアプリを使ってゲーム感覚で皆使って、いつの間にか１つ前の駅で降りて歩くなど運動習慣もついてきました。

以上が弊社横浜支店での健康経営に対する取り組みですが、大塚製薬では、製薬会社としての知見に基づいて、企業が抱える健康課題の解決のお手伝いをしております。何から始めて良いかわからない、具体的にどんなことができるのか、とお悩みの企業様は、お気軽にお問合せいただけると幸いです。

その節は健康経営認証の項目にもあります、社員の間食での健康食品の提供や自販機などでの健康飲料の推奨というところで、弊社製品をご利用いただければ幸いです。

と、取り組み状況について報告いただきましが、各企業とも健康経営を実践することによって、経営活動にプラスに働いていることから、各社クラス AAA を目指して今後も稼動を続けていきたいとの発言でした。

引き続き、横経済局ライフイノベーション推進課佐山如徳担当係長(写真左下右から２人目)より、健康経営認証制度について、制度の概要と制度がもたらす効果などが説明されました。また、人材不足への対応策として実施される、市内中小企業向け求人サイトについて横経済局地域振興部ものづくり支援中村隆幸課長(写真右下右端)より、説明がなされました。